

「考え、議論する道德」の実現に向けた授業構想<中・道德>

特別研修員 道德 前原 聡 (中学校教諭)

主題名 「きまり」の意義
内容項目 C-(10) 遵法精神・公德心
教材名 『人に迷惑をかけなければいいのか?』

主題名 最後までやり抜く強い意志をもつ
内容項目 A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志
教材名 『伊勢崎銘仙とともに～下城弥一郎』

授業改善の視点

主人公の考えに対する自らの意見を持ち、全体で比較・検討することで、道德的価値に根差した現実的な問題意識に対する自己の思いや願いを深められるようにする。

授業改善の視点

地域の人的な資源を活用する場合には、偉業だけを強調するのではなく偉人の人間の弱さを想像させることで、展開後段から自分事として振り返らせやすくする。

過程

主な学習活動 (○発問 ◎中心発問)

導入

1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ。

○駐車場の周りにコーンがあります。それは、何のためにあるか分かりますか。

道德的諸価値についての理解を深めるために

・「きまり」に関わる身近な事例を提示し、道德的な価値(遵法精神)に根差した問題を自分事として考えさせる。

○なぜ「きまり」があるのでしょうか。

きまりは何のためにあるのだろうか。

1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ。

○今、あなたには目標がありますか。達成する可能性はどのくらいですか。

道德的諸価値についての理解を深めるために

・現在の目標を明示させ、道德的な価値(人間の強さ)に根差した問題を自分ごととして捉えさせる。

目標を達成するために大切なことは何だろうか。

展開

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道德的価値の追求を行う。

教材を範読する前に、あらかじめ登場人物や考える場面を伝えておくことで、教材の内容の理解を促す。

○「僕」は「人に迷惑をかけなければいい」と考えていました。これに共感しますか、しませんか。
 ○共感する人から意見をどうぞ。

物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・それぞれの立場の理由を考えて議論させることで、多様な感じ方や考え方を引き出す。

○双方に反論か質問はありますか。

◎「そして今朝、初めてわかったような気がした。」
 「僕」は何が分かったのでしょうか。

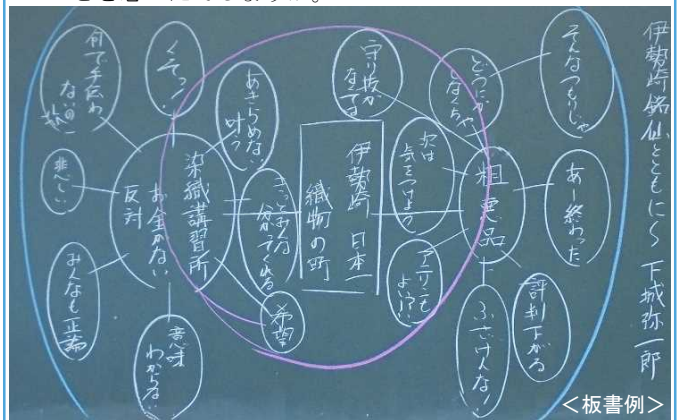
主人公の気持ちを想像することを通して、「きまり」を守ることが規律ある社会の実現に資することを理解させる。

共感する◎
 なぜ面倒な方にいくのか分からない
 誰も責任がない
 迷惑じゃない
 共感しない◎
 自分では思っていないけど、他人に迷惑
 教科書はいい? 先生の考えを最初から与え付ける
 自分では思っていないけど、他人に迷惑

<黒板での意見の整理例>

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道德的価値の追求を行う。

○弥一郎に様々な困難がやってきます。その時どのようなことを思ったのでしょうか。



<板書例>

・プラス思考を内側にマイナス思考を外側に板書する。
 ・偉人の人間としての強さを視覚的に強調する。

◎なぜ弥一郎は目標を達成することができたのでしょうか。

物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・「あきらめなかつたから」などの抽象的な発言に対しては、更に具体的に述べさせることで、人間の強さまで価値を深めさせる。

終末

3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○「きまり」は何のためにあると考えますか。

人間としての生き方についての考えを深めるために

・様々な意見を比較・検討することで身近な社会に留まらず、人間の生き方に関する意見など様々な考えが出されると予想される。

3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○目標を達成するために大切なことは何だと思えますか。

人間としての生き方についての考えを深めるために

・弥一郎の気持ちを想像させたように自らの気持ちも想像させる。
 ・目標達成を目指す過程で人間の弱さが現れることを肯定的に捉えさせたい。

道徳科 学習指導案

平成30年10月 第1学年 指導者 前原 聡

1 主題名 最後までやり抜く強い意志をもつ 内容項目A－(4) 希望と勇気、克己と強い意志

2 教材名 「伊勢崎銘仙とともに～下城弥一郎～」(出典：道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

私たちは様々な目標をもちながら日々生活をしており、その目標に向かって自分自身を奮い立たせて活動している。しかしながら、目標を達成する過程は順風満帆ではない。時には困難がおとずれ、失敗することもある。そこで、困難や失敗を乗り越えるためには、目標を達成しようとする気持ち、克己心が必要である。克己心とは自分を信じることであると考える。また、目標が他者から与えられた場合、その他者を信じることも克己心であるとする。克己心は、目標達成に欠かすことのできない資質であると言える。

(2) 生徒の実態について

中学生となり約半年が過ぎた。生徒の生活ノートには、部活動に熱心に取り組んだり、自主学習に取り組んだりする様子が書かれており、誰もが中学校生活に夢や希望をもっていると考えられる。しかし、テストの結果などで理想通りにいかない現実にも悩む様子も同時に書かれている。そこで、困難や失敗を乗り越え、目標を達成しようとする気持ち、克己心について考えてもらうために、本主題を設定した。

(3) 教材について

下城弥一郎は、伊勢崎の太織を伊勢崎銘仙という世界的にも有名な織物にまで高めた功労者の一人である。最終的には銘仙と呼ばれるまでの製品になるのだが、道のりは決して平坦ではなかった。職工たちは染料に対する知識の欠如から粗悪化を招き、太織の評判を落としてしまう。

生徒は、弥一郎の姿から、どのような偉人であっても困難や失敗に直面することを知るであろう。そして、それらに諦めずに立ち向かい乗り越えようとするのが、目標達成には不可欠であることに気付くだろう。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・現在の目標を明示させ、道徳的な価値(人間の強さ)に根差した問題を自分事として捉えさせる。

○中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行うために

- ・教材を範読する前に伊勢崎銘仙が外国の博物館で展示されていることや弥一郎の経歴を伝えておくことで、教材の理解を促す。
- ・弥一郎が困難や失敗に直面したときに感じたことを列挙させることで、歴史に名を残す偉人であっても人間的な弱さがあることに気付かせる。
- ・弥一郎が成功した理由を考えさせることで、目標達成に向けて努力を続けるためには自分や応援してくれる他者を信じる克己心が必要であることに気付かせる。
- ・現在の目標を達成するまでにどのような困難や失敗があるかを考えさせるとともに、問い返しによって、どう感じるかを考えさせる。そして、弥一郎のように困難や失敗があっても、自分や他者を信じて乗り越えようと努力を継続することが、目標達成に近づくことを理解させる。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・全体で比較・検討したことを基に自己を振り返らせることで、本時で学んだ道徳的な価値を日常生活の中で具体的に生かそうとする心情を育てていく。

5 本時の展開

(1) ねらい

伊勢崎銘仙の発展に努めた下城弥一郎の生き方について話し合うことを通して、困難や失敗に直面しても最後まであきらめず、より高い目標に向かってやり抜こうとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：「ぐんまの道徳」、上毛カルタの拡大写真、ワークシート（個人・グループ）

生徒：色鉛筆

(3) 展開

学習活動と発問	時間	予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値に根差した問題を想起する。</p> <p>○今、あなたには目標がありますか。</p> <p>目標を達成するために大切なことは何だろうか。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで自分の力を出して、目標の点数を目指したい。 ・来年の春季大会ではレギュラーに入りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の目標を自覚させるとともに達成率を考えさせる。その中で、目標達成までの過程において困難や失敗が伴うことに気付かせ、克己心に根差した問題を自分事として捉えさせる。
<p>2 教材における弥一郎の心情を想像する。</p> <p>○弥一郎に様々な困難がやってきます。その時どのようなことを思ったでしょうか。グループごとにできるだけ、たくさん書きましょう。</p> <p>◎なぜ弥一郎は目標を達成することができたのでしょうか。</p> <p>【問い返し（◇）】</p> <p>◇周りは反対しているのに、あきらめなかったのはどうしてですか。</p>	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・品質が落ちるなんて、考えもなかった。 ・悲しい。 ・どうしよう。 ・伊勢崎銘仙を守り抜かなくては、諦めなければ叶うはずだ。 ・諦めなかったから。 ・プラス思考だったから。 ・反対されても、説得していけば一人でも賛同してくれる人がいるかもしれないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教材の読み取りに時間がかからないように、読みながら話のポイントを質問していき、板書で簡潔に整理していく。 ●グループでのブレインストーミングによって、弥一郎の人間としての強さだけでなく弱さにも気付かせる。 ●ウェビングの手法を使い、考えを整理させるとともに意見を人間の強さ（赤）と弱さ（青）とで色分けさせることによって、弥一郎の人間の弱さに着目させる。 ●全体で意見を共有する場面では、黒板上の内側に人間の強さ（赤）、外側に人間の弱さ（青）を意図的に配置する。人間の強さを強調することで、中心発問により弥一郎の克己心に気付かせる。
<p>3 道徳的価値を自分自身との関わりの中で深める。</p> <p>○個人のワークシートを活用して、自分自身のことを考えてみましょう。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしてしまうかもしれない。 ・面倒だなあ。 ・なぜ、自分だけがこんな目に遭うのだろう。 ・でも、もう少し頑張ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●弥一郎についてウェビングの手法で想像したように、自分についても想像させる。 ●弥一郎と同じく自分にも人間の弱さがあることを、否定的ではなく、誰にでもあるものとして肯定的に捉えさせる。
<p>4 価値に対する思いや考えを振り返る。</p> <p>○目標を達成するために大切なことは何だと思いますか。</p> <p>○今日の授業を自由に振り返りましょう。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・弥一郎さんのように最初はダメなことばかり続いても、仲間や諦めない心をもてば自分の夢はかなうのだなと思った。 ・私も仲間や諦めない心をもって自分の夢をかなえたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本時における導入での達成率の確認とともに問題意識を再度取り上げ、道徳的価値について振り返らせる。 ●困難や失敗を乗り越え、目標を達成しようとする気持ち、克己心がこれからの生活でも大切であることを理解させる。

(4) 評価の視点

○弥一郎の生き方や人間の強さについて話し合うことにより、努力と強い意志について多面的・多角的な見方へと発展しているか。

○人間としての強さを考えることで、努力と強い意志について、自分自身との関わりの中で深めているか。

指導例：主題名 最後までやり抜く強い意志をもつ A-(4)希望と勇気、克己と強い意志
教材名 『伊勢崎銘仙とともに～下城弥一郎』（ぐんまの道徳）第1学年

ねらい：伊勢崎銘仙の発展に努めた下城弥一郎の生き方について話し合うことを通して、困難や失敗に直面しても最後まであきらめず、より高い目標に向かってやり抜こうとする心情を育てる。

過程

主な学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇問い返し)

指導のポイント

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○今、あなたには目標がありますか。
S：定期テストで自分の力を出して、目標の点数を目指したい。可能性は五分五分くらい。
S：来年の春季大会ではレギュラーに入りたい。もう少しで入れそうだ。

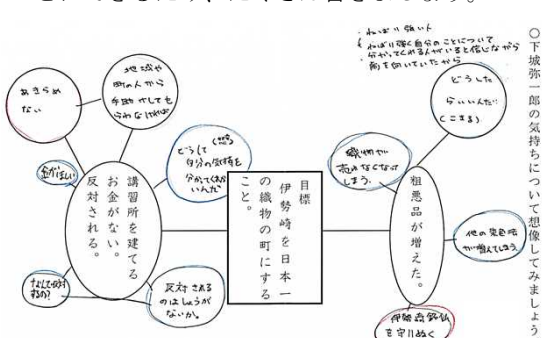
目標を達成するために大切なことは何だろうか。

問題意識

○現在の目標を明示させ、道徳的な価値(人間の強さ)に根差した問題を自分事として捉えさせる。

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行う。

○弥一郎に様々な困難がやってきます。その時どのようなことを思ったのでしょうか。グループごとにできるだけ、たくさん書きましょう。
T：マイナス思考から教えてください。
S：そんなつもりでは。
S：評判が下がる。
T：弥一郎も思ったかもしれませんね。プラス思考で何かありますか。
S：次は気を付けよう。
S：伊勢崎銘仙を守り抜かなくては。



<グループのワークシート例>

協働や対話の場

○グループごとに多様な意見を出させ、ウェビングの手法で考えを整理させる。
○プラス思考(赤)とマイナス思考(青)を色分けさせることで、弥一郎の人間の弱さに着目させる。

中心発問

○黒板上ではプラス思考を内側にマイナス思考を外側に配置しておき、中心発問で弥一郎の人間の強さに気付かせる。
○人間の強さについて多面的・多角的に捉えることができるように、仲間や家族にも注目させる。

展開

◎次々と困難がやってきたのに、なぜ弥一郎は目標を達成することができたのでしょうか。

S：仲間がいたからです。
◇どうして仲間がいると達成できるの？
S：同じ目標をもつ仲間がいれば思いが強くなるからです。
S：あきらめなかったからです。
◇でも、周りは反対しているよ。それでも、あきらめないのかな。
S：もしかしたら一人でも賛成してくれる人がいるかもしれないからです。
S：(黒板を指差して) 赤い(プラス思考の)ところですよ。
◇例えば、どんな思いがあったと考えますか。
S：「(伊勢崎銘仙を) 守り抜かなくては」とかです。
○個人のワークシートを活用して、自分自身のことを考えてみましょう。

問い返し

○「あきらめなかったから」などの抽象的な発言に対しては問い返しにより具体的に述べさせることで、人間の強さまで価値を深めさせる。

振り返り

○自らの気持ちも想像させる。



<生徒のワークシート例>

○同郷の偉人を取り上げるとともに人間としての弱さを想像させたことで、偉人と目標達成に向かう自己とを重ね合わせた振り返りが可能となる。

終末

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○目標を達成するために大切なことは何だと思えますか。
S：仲間の協力(が大切)。
S：あきらめない心。何度も立ち上がる。
S：自分の力。
◇面白いね。仲間の力も大切だけれど自分の力も大切なんだ。ところで、自分の力って何ですか。
S：(自分が) 苦手部分にも挑戦すること。
○今日の授業を自由に振り返りましょう。
S：弥一郎さんのように最初はダメなことばかり続いても、仲間やあきらめない心をもって自分の夢はかなうんだなと思いました。私も仲間や諦めない心をもって自分の夢をかなえたいです。

評価の視点

・弥一郎の生き方や人間の強さについて話し合うことにより、努力と強い意志について多面的・多角的な見方へと発展しているか。
・人間としての強さを考えることで、努力と強い意志について、自分自身との関わりの中で深めているか。